

警察庁によると、令和2年の少年非行について、刑法犯の少年が検挙された人数は1万7466人で前年比12・3%減と、戦後最少でした。

増加したのは、殺人や強盗など凶悪犯で、522

人と前年比14・2%増で

した。特殊詐欺は489人で前年比21・0%減でしたが、依然として高い数字を示しました。また、初発型非行といわれる万引き・オートバイ盗・自転車盗などは8433人で、

前年比16・9%減となっています。

一方で、特別法犯の少年の総検挙人数は5022人で前年比10・2%増となっています。中でも大麻取締法違反の検挙人数は887人で前年

から45・6%増加しています。

少年の非行を防止しましょう

全体の検挙人

数は減少していますが、特殊詐欺や大麻乱用に関わった少年は多くなっています。社会全体で少年の非行を防止することが大切です。

防犯一口メモ